

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ザファラバード行政郡灌漑用水路整備計画

ザファラバード行政郡はドゥシャンベ市から北へ約300km、車で6時間の距離にあり、約64,000人（2012年）が暮らし、住民の殆どが農業を生業とし、綿花、野菜、果物を栽培しています。

タジキスタンでは、灌漑用水による河川の水源を利用した農業が多く見受けられ、ザファラバード行政郡でも灌漑用の殆どの水路はソビエト時代に造られたもので、経年による様々な弊害が発生しています。特に土砂堆積に伴い、農地では水量不足および水分蒸発による塩類集積（地層または水に含まれる塩類の上昇）が発生し、収穫量は低下の一途を辿り、農業への依存度が極めて高い同行政郡にとっては深刻な問題となっていました。

これらの問題を解決するため、本計画では用水路の土砂を取り除くための掘削機（ショベルカー）と、用水路から除去した土砂を運搬するためのトラクターおよびトレーラー（荷台）を整備しました。現在、ザファラバード行政郡各地の水利組合がこれらの機材を使用し、用水路の土砂除去・修復および地表・地中の塩類濃度の希釈を行い、農作物の収穫量増加に努めています。



農業用水の不足により塩類集積が発生し、地表に塩分が結晶化し、農作物の栽培に害を与えている。



本計画により整備された機材。
トラクター、掘削機、トレーラー（写真左から）。



引渡し式に集まった水資源局員及び水利組合員に挨拶を述べる本使。



日本政府に対する感謝の言葉を述べるラフマトフ行政郡長（ザファラバード行政郡）。